



# News Release

07-D-1341  
2008年3月10日

## 株式会社ベルーナ (証券コード : 9997)

長期優先債務格付据置 : 「BBB+」 (トリプルBプラス)  
格付けの見通し : 「安定的」  
債券格付据置 : 「BBB+」 (トリプルBプラス)

株式会社日本格付研究所 (JCR) は以下のとおり既発行債券の格付け、並びに長期優先債務\*の格付けを見直し、据え置きとしましたのでお知らせします。

\* 長期優先債務格付けとは、債務者 (発行体) の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。このうち、期限1年以内の債務に対する債務履行能力を評価したものを短期優先債務格付けと位置づけています。個別債務の評価 (債券の格付け、ローンの格付け等) では、債務の契約内容、債務間の優先劣後関係、回収可能性の程度も考慮するため、個別債務の格付けが長期優先債務格付けと異なること (上回ること、または下回ること) もあります。

発行体 : 株式会社ベルーナ

### 【据置】

| (対象)      | (格付)  | (見通し)      |            |       |      | (格付) |
|-----------|-------|------------|------------|-------|------|------|
| ・長期優先債務   | BBB+  | 安定的        |            |       |      |      |
| (対象)      | (発行額) | (発行日)      | (償還期限)     | (利率)  | (格付) |      |
| ・第2回無担保社債 | 100億円 | 2005年9月21日 | 2010年9月21日 | 0.96% | BBB+ |      |

### 【格付事由】

- 総合通販大手。カタログ事業で蓄積したデータベースを核とした「通販総合商社」を目指し、ポートフォリオ経営を推進している。
- 通販市場は、利用媒体の多様化や新規参入者の増加で拡大が続いている。利用媒体別では、インターネットの割合が上昇する一方、カタログの割合が低下する方向にある。こうした中で、当社はカタログ事業で安定した売上を維持しつつ、単品通販事業を伸ばしてきた。しかし最近では、カタログ事業の売上が落ち込み、単品通販事業も伸び悩みつつある。ネット対応の遅れなど、今後の通販事業の立て直しが課題となっている。
- 当社はカタログ事業の収益低下を単品通販事業やファイナンス事業、プロパティ事業などの増益でカバーし、業績を伸ばしてきた。しかし、08/3期はファイナンス事業が好調な一方、カタログ事業が落ち込み経常減益となる見込み。また、貸金業法改正、不動産市況の悪化など、牽引役であったファイナンス事業を取り巻く環境は変わってきている。このため、現状の収益力の維持についてはやや不透明感があるが、収益基盤が分散化していることもあり、大きな落ち込みも想定しにくいと考える。
- 財務面では営業貸付金の増加に伴い、有利子負債が増加傾向にある。現状、ファイナンス事業は延滞、貸倒れの発生率も低く、健全な資産内容を維持している。しかし、外部環境が変化している中で、今後貸倒れリスクが高まる可能性があり、注視していく必要がある。

以上

(チーフアナリスト 山本 昇治・シニアアナリスト 加藤 厚)

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル

<情報提供電子メディア (検索コード)>

BLOOMBERG (和文: JCRA / 英文: JCR) REUTERS (EJCRA)

QUICK (和文: QR / 英文: QQ) JIJI PRESS 共同通信JLS

<お問い合わせ先>

TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 担当: 情報・研修部

http://www.jcr.co.jp